

JAZZ、味わったことのない幸せを感じる

ジャズボーカリスト
星乃けいofficial website
<https://www.hoshinokei.com>

ジャズ? JAZZ? 歌詞は英語だし、なんだかワケの分からない演奏がえんえんと続いて、演奏者も聴く人も理屈っぽい人多そうだし…と違ってらっしゃる皆様、私も同じです。いえ、同じでした。私達がいつも耳にする音楽は童謡からポップスまで日本語で内容もよく分かるし、間奏も決められたメロディで短め、曲に対する特別な理解などは不要で、スーっと心に浸み込んでいきます。私達はそういう環境で育ち、生活をしているのでJAZZの敷居が高いのは当たり前ですよ。私もまったく興味がなかったのに、何で今JAZZを唄ってんの?ですよ(笑)。前回お話ししたように、たまたま連れていかれたセッションで新しい宝石を見つけた~!という単純な動機ですが、最初はJAZZを唄うことよりもジャズミュージシャンと曲に興味があったので、インスト(唄のない演奏)をよく聴きに行きました。セッションに行ったときにピアニストの岩谷さんから「JAZZの基本は1コーラス(日本語の曲だと1番ってことかな)を繰り返すんだよ」って教えてもらったので、演奏を聴いていくうちに1コーラスの区切りが分かって「このミュージシャンは1コーラスを3回位演奏したのは、楽しかったからかなあ」なんて

考えると、私もわくわくしてくるんです。えんえんと続く演奏も、1コーラスの区切りが少しずつ解ってくると、演奏者が1コーラスごとにストーリーを変えて奏でていることがわかり、感覚が激変しました。そうした時間を過ごしているうちに、聴いたことのある曲が演奏されると、同じ曲なのにそのスタイルや解釈の違いに驚いたり、そんなリズムで演るんだ!と面白かったりして、ミュージシャンをどんどん尊敬していくようになりました。心の中をお見せするようでお恥ずかしいのですが、特にライブではその人の素顔や内面を隠すことはできないような気がします。だからミュージシャンが嬉しいとか美しいとか熱いとかを本気で演奏する姿を見ると、その人の心に触れたような気持ちになって、連帯かしら? 共有かしら…とにかく味わったことのない幸せを感じるのです。私は、あまりハグをするタイプではないのですが、気持ちはガッツリとハグしちゃっております。だから、聴きに行ったらミュージシャンによく声を掛けました。そもそも「JAZZ分からない私」なので大した話はできませんが最初の頃は、楽しかった、来て良かった!という程度。でもこんな出会いから今も繋がっているミュージシャンもいる

んですよ。ミュージシャンと話した事がないとおっしゃる方もいらっしゃると思いますが、気軽に声をかけてみませんか? みんな優しいですよ。いろんなキャラがいますし、くだらない雑談も多々ありますがJAZZを愛している気のいい人ばかりです。そんなミュージシャンの中で私はいつか、自分の小さな居場所を見つけました。私がJAZZの中にいられるのはそんなミュージシャン達のおかげなんです。だからライブのときは、そんなミュージシャン達に一杯、御馳走してくださいね!



Photo: Yoshino Yasuda

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価支持される。